

国際P2M学会 論文投稿規程

#	対象	チェック事項
1	用紙	A4 版で横書き 1 段組み、行数は 36 行、印刷の向きは縦に統一し余白は上下 25mm、左 30mm、右 25mm であること
2	タイトル サブタイトル	論文の冒頭に和文と英文のものがサイズ 14pt で記載されていること (サブタイトルがある場合、和文と英文をサイズ 12pt で記載する)
3	著者名	タイトルの直下に、日本語とローマ字で記入されていること (日本語名が無い方は、ローマ字名のみ記入)
4	著者所属	著者名の末尾に注釈をつけ、1 ページ目の文末にアンダーラインを引き、その下に所属名が記載されていること(注釈の文字は問わない)
5	要旨	著者名の直下に、論文の要旨が和文と英文で、それぞれ 8 行程度で記載されていること(8 行以上でもよいが、なるべく簡潔に纏める)
6	キーワード	和文と英文の要旨の直下に、5・6 個程度記載されていること(特に英文キーワードを忘れて多いので要確認)
7	本文の文字	文字の設定がサイズ 10.5 の MS 明朝(半角英数は Times New Roman)であること
8	本文の 章・節・項	本文の章・節・項が下記の書式で記載されていること(字下げしない) 1. 章タイトル 1. 1. 節タイトル 1. 1. 1. 項タイトル
9	本文の 箇条書き	箇条書きが下記の書式で記載されていること(適切に字下げする) (1)箇条書き内容 (a)箇条書き内容 (i)箇条書き内容 ※囲み文字(①②等)は文字化けの原因になるため極力用いない
10	本文の表	表のタイトルが、表の上部に入れてあり、表番号が本文の記載とずれていないこと(配色は白黒印刷される前提で設定する)
11	本文の図	図のタイトルが、図の下部に入れてあり、図番号が本文の記載とずれていないこと(配色は白黒印刷される前提で設定する)
12	本文の脚注	本文に脚注を入れる場合、MS-Word の「脚注の挿入」機能を用いる(脚注挿入個所で、上部メニューの「参考資料→脚注の挿入」)
13	本文の 参考文献	下記の書式で入れてあり、本文の引用番号とずれていないこと ・本文中の文献引用部分(上付きで引用番号を入れる): ・・・であると定義している ^[1] 。 ・参考文献の部分(論文と著書で書式が異なる): [1]著者名「論文名」、雑誌名、Vol.1、No.1、pp.1-2、発行機関名、発行年 [1]著者名「著書名」、出版社名、pp.1-2、発行年 ※海外の文献の場合「、」を「, 」とし、タイトルのカッコは""とする

特に No.10 以降に関連し、番号のズレが散見されます。原稿作成後、一度全体をご確認下さい。